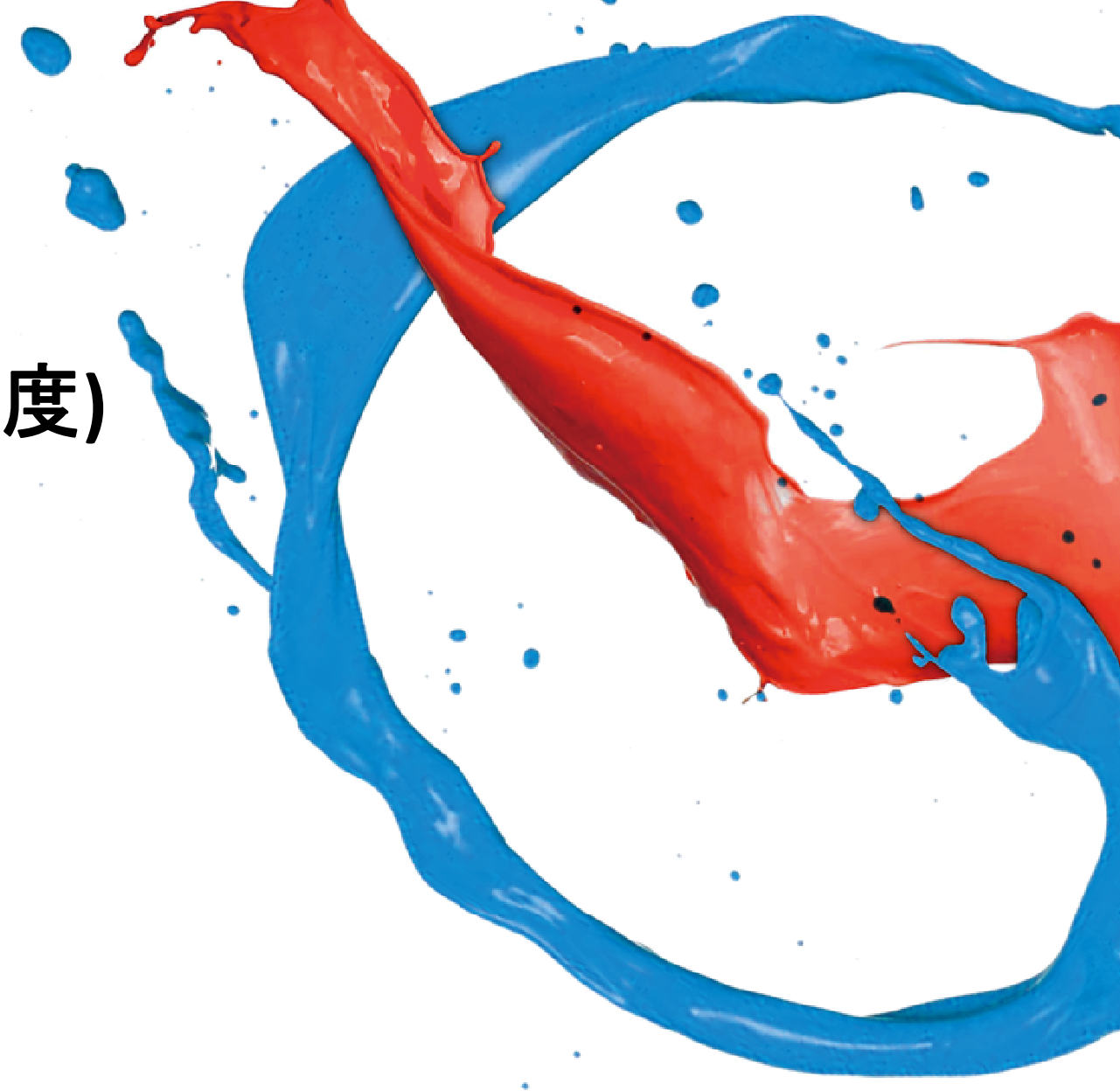
NIPPON PAINT HOLDINGS

日本ペイントホールディングスグループ

中期経営計画
(2015年度～2017年度)

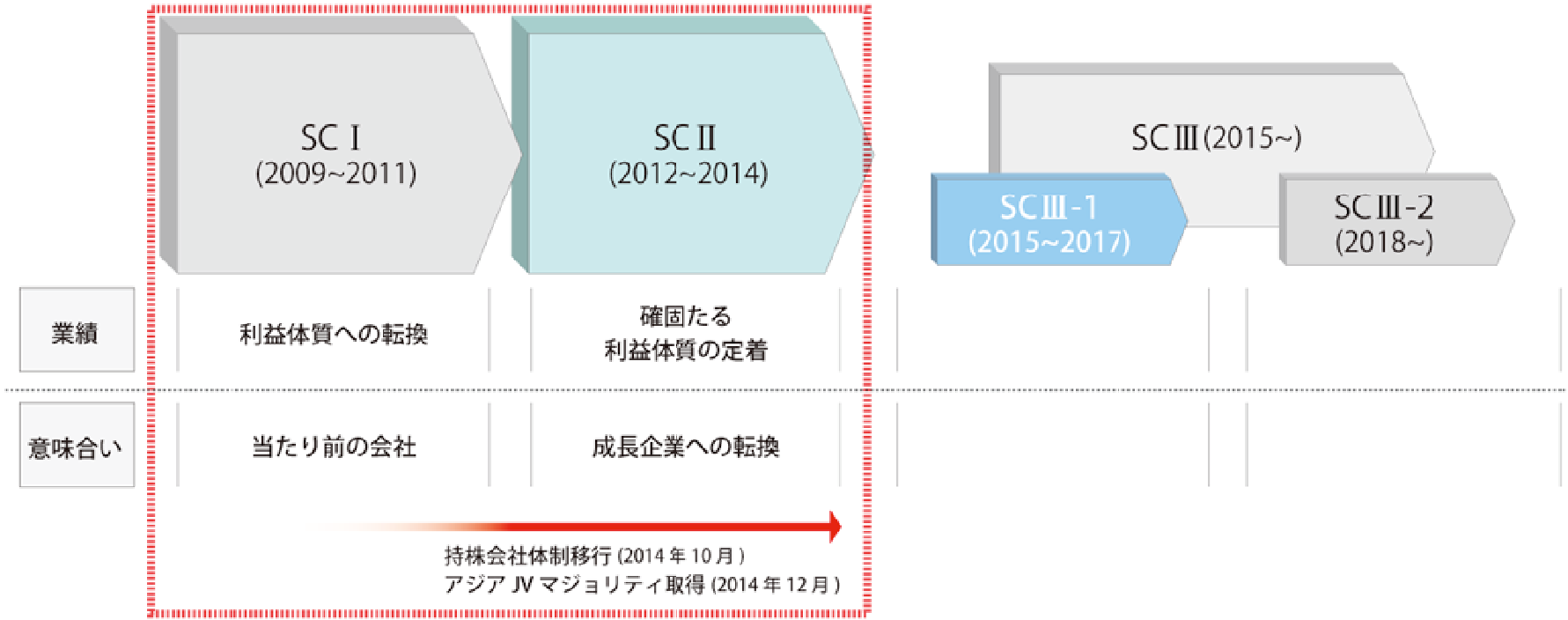


2015年5月22日

日本ペイントホールディングス株式会社

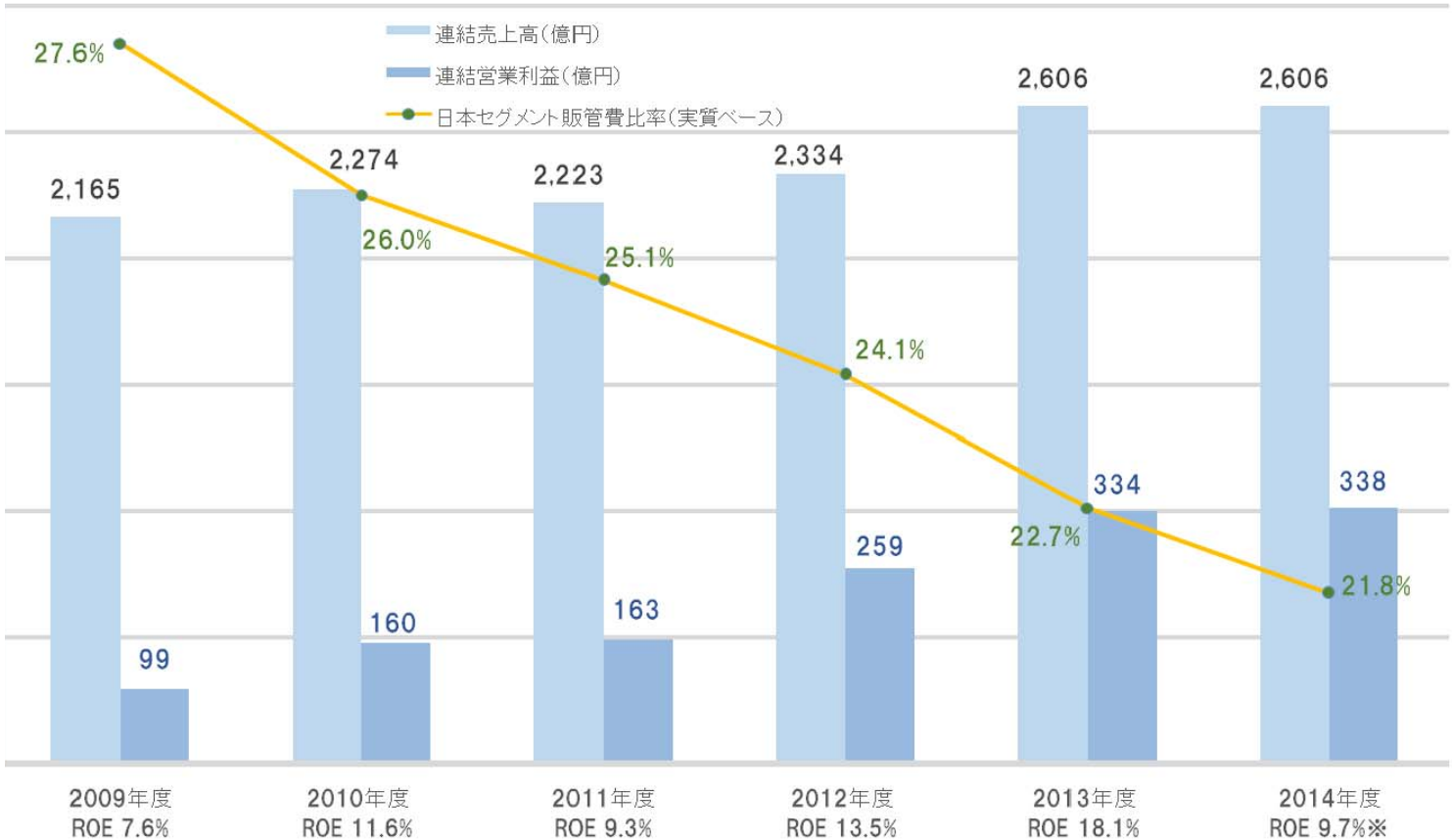
NIPPON PAINT HOLDINGS CO.,LTD.

サバイバルチャレンジⅠ～Ⅱの振り返り－1



サバイバルチャレンジⅠ～Ⅱの振り返り－２

事業の収益性・効率性において一定の成果



※当期純利益から特別利益(1,488億円)を控除し算出

(SC目標)　(国内営業利益150億円)　(国内販管費比率21%台)

サバイバルチャレンジⅠ～Ⅱの振り返り－3

国内事業の収益基盤を強固なものにした

（億円）

	日本		連結	
	FY2008	FY2014	FY2008	FY2014
売上高	1,991 ※1	2,006 ※1 ※2	2,396	2,606
営業利益	30	264 ※2	31	338
営業利益率	1.5%	13.2%	1.3%	13.0%
販管費率	27.7%	21.8%		

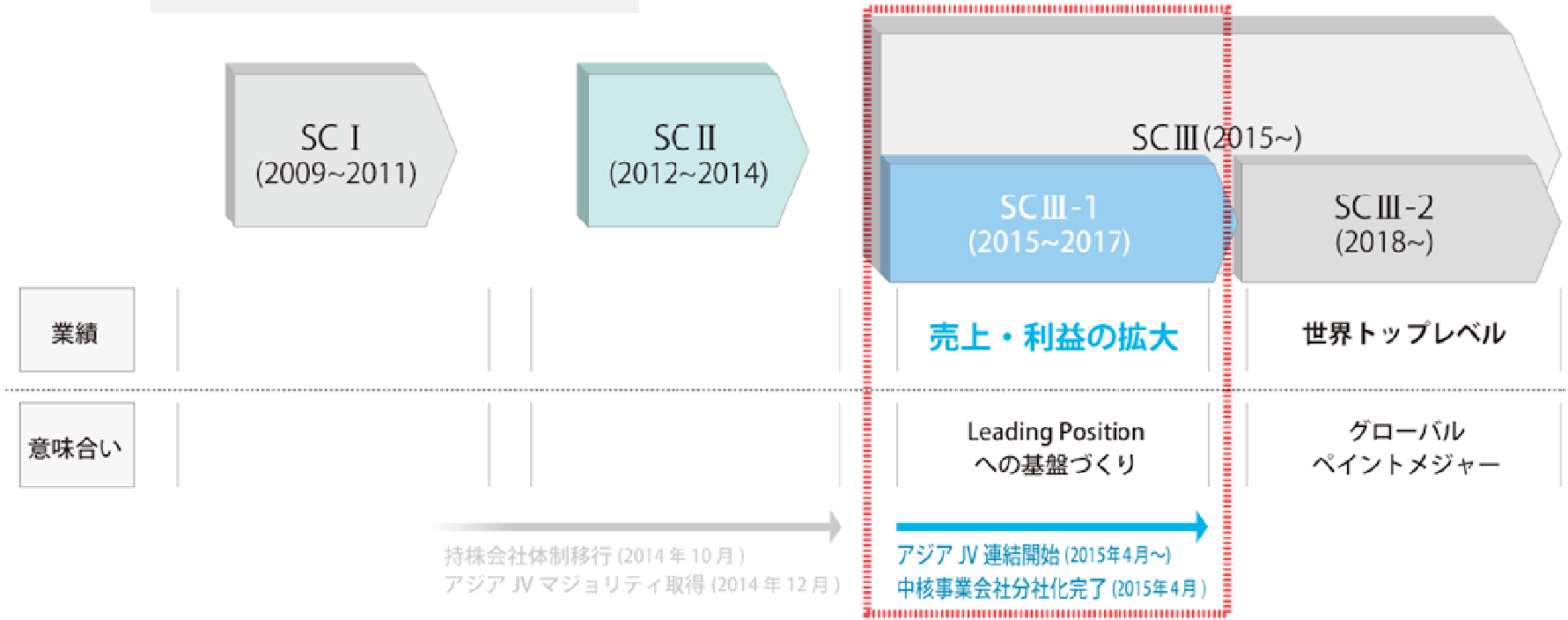
※1　セグメント間の内部売上高を含む

※2　持株会社への海外グループ会社からの配当（約78億円、日本セグメントの営業収益として計上）を除く

NIPPON PAINT HOLDINGS

新中計の位置づけ

成長と収益性の両立を実現する



新 経営ビジョン

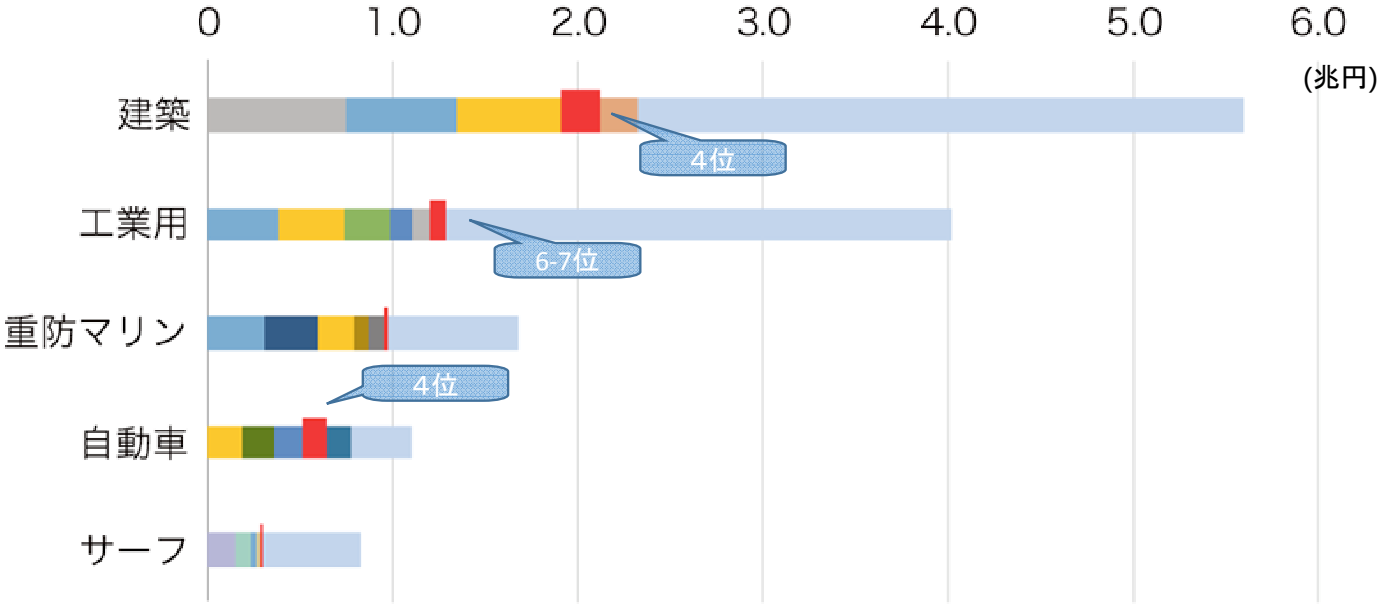
新中計の着手にあたり、経営ビジョンを変更

- *我々は、塗料をコアに、優れたスペシャリティケミカル製品とサービスを提供し、お客様に満足と感動を届けます*
- *我々は、世界各地域の文化と人々の価値観を尊重し、グローバルに成長します*
- *我々は、果敢にチャレンジする人材が集まり、いきいきと働ける企業風土を追求します*

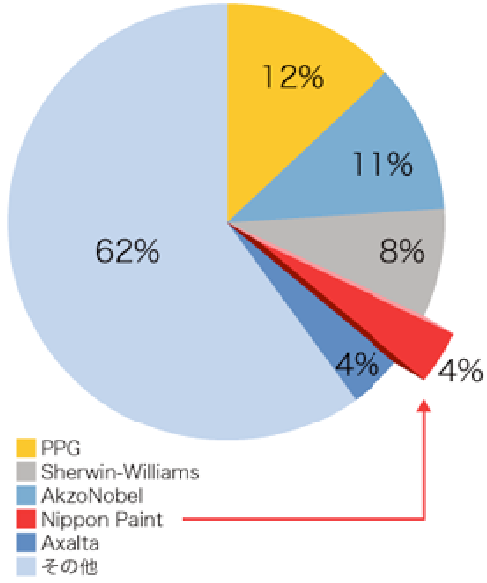
環境認識（当社のポジション）

強力な競合は存在も、チャレンジ領域は残されている

グローバル　事業別 メーカー売上高　(2014年自社推定)



2014年塗料メーカーシェア



NIPPON PAINT HOLDINGS

将来のゴール

グローバルペイントメジャー

すなわち

コーティングスおよびその関連事業が
それぞれグローバル地域で
Leading Positionを獲得できている

Leading Position: 各事業セグメントにおいて売上高トップ3以内

NIPPON PAINT HOLDINGS

中期経営計画① *“ Future Pull ”*

将来ゴールを設定、そこから逆算した3年後のあるべき姿を必達する
(2017年度)

将来ゴール(Big Picture) ＝ *Global Paint Major*

↓

2017～ 大きな絵から見た、3年後ゴール ＝ **必達ゴール**

↓

2016 事業環境変化に応じ、ローリング

↓

2015 ゴール達成のために実現すべき姿を描く
“ Future Pull”

2014 ↑

中期経営計画②　重点領域

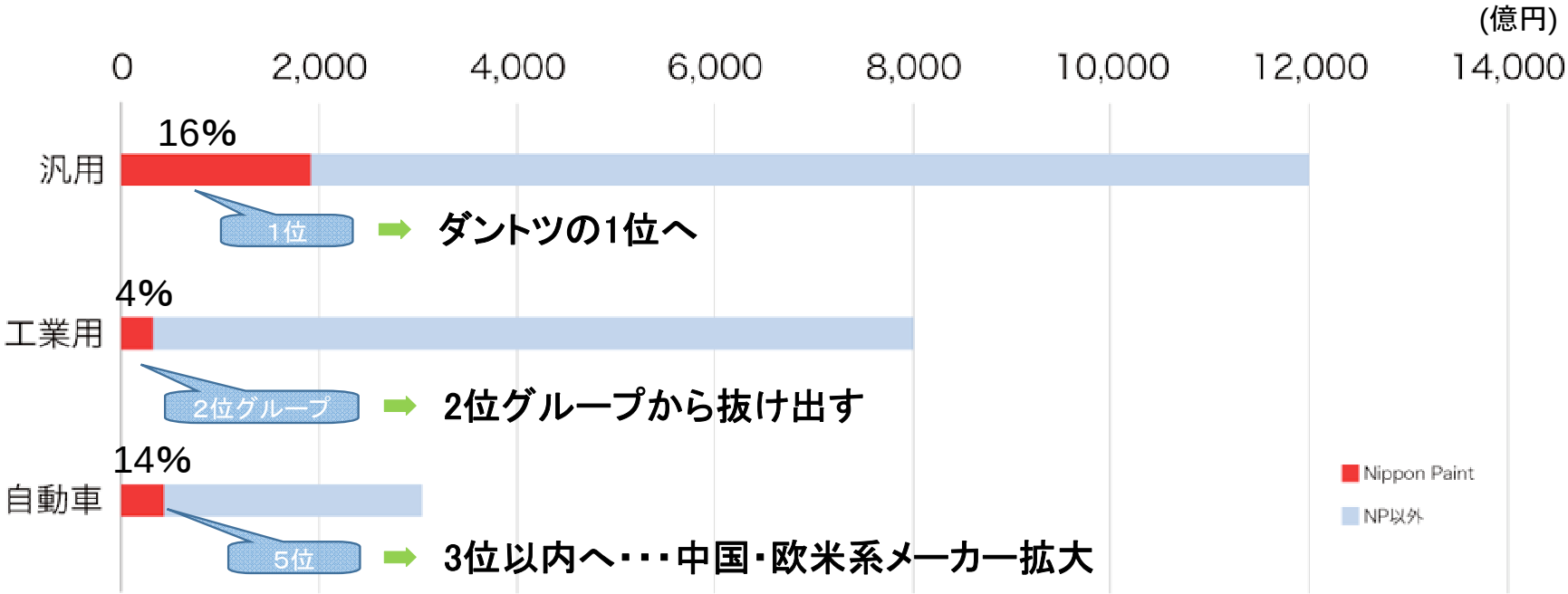
事業	日本	中国	他アジア	北中南米	欧州
建築	◎	◎	◎		
工業用		◎	○		
重防マリン		◎	◎	○	
自動車		◎	○	○	○
サーフ		◎	◎		

◎：最重点領域　○：重点領域

NIPPON PAINT HOLDINGS

中期経営計画③　中国:現状と2017年ゴール

最重要市場・中国で ”Dominant” となる基盤を作る



(2014年自社推定)

汎用 ： 床用、木工用含む
工業用 ： 重防食、粉体含む

中国: 成長のDriving Force

最重要市場・中国で ”Dominant” となる基盤を作る

✓ 従来のDIY・プロジェクトにおけるNo1から、汎用塗料No1を目指し、
積極的なM&A実施(事業領域拡大)による売上高拡大

秀珀® 广州秀珀化工股份有限公司 SUPE Guangzhou Supe Chemical Co., Ltd.

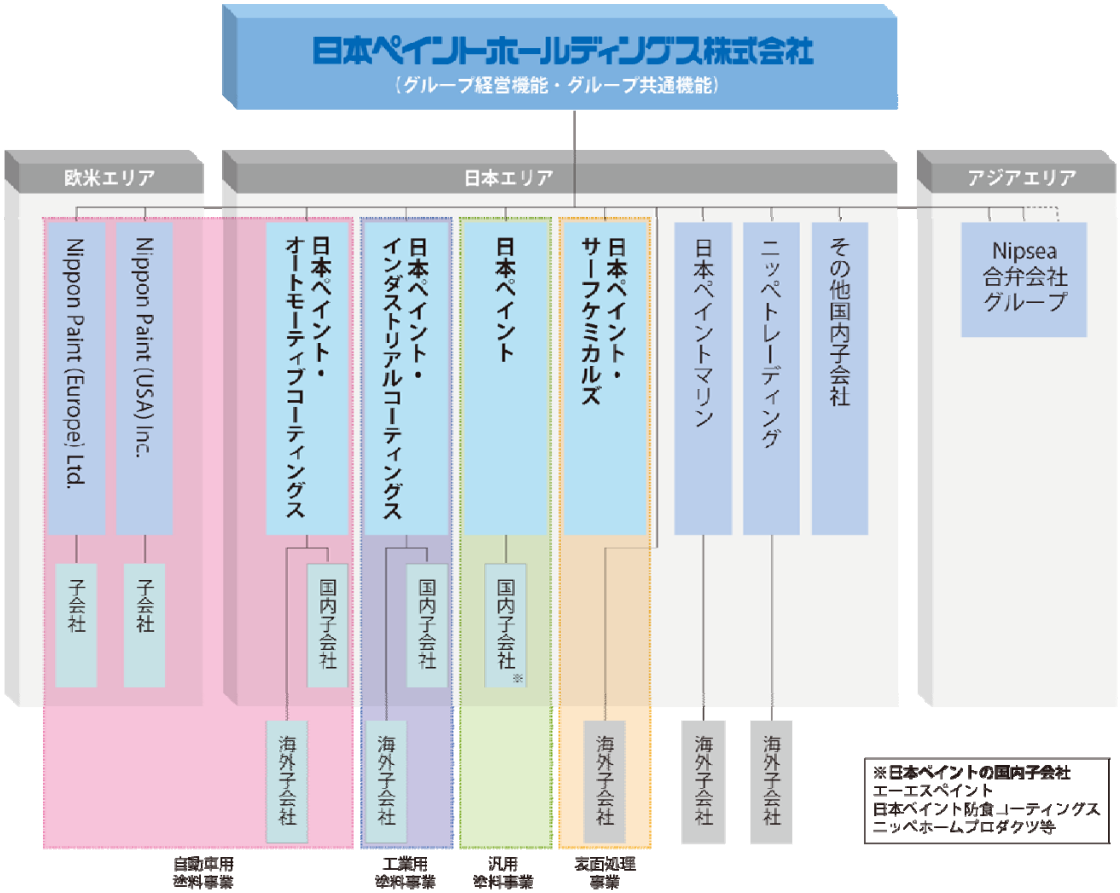
OPEL 歐龍®漆

✓ ＜塗替需要＞の積極的な喚起、従来型の商流に拘らない＜需要捕捉＞

✓ 生産能力増強、環境規制対応力向上のための積極的な投資
15年度以降、順次実施

中核4事業会社発足

重点領域への最適戦略策定とスピードアップを目的として、事業分社



＜ホールディングス移行の狙い＞

✓ポートフォリオ経営
グループ最適での資源配分

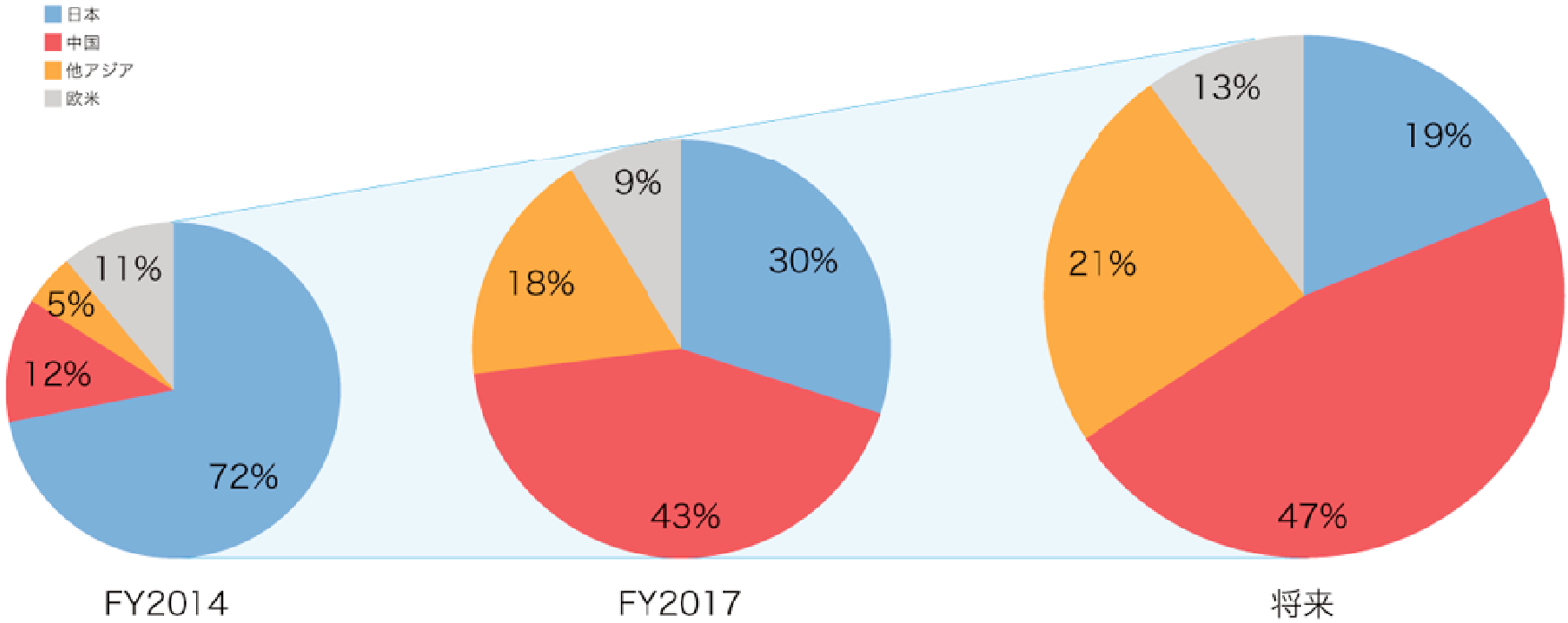
✓グループガバナンス発揮
グループ最適を実現できる
経営基盤の構築

今後の成長戦略に鑑み、以下施策も実施

- ✓ 14年12月
  日本ファインコーティングス株式100%取得
- ✓ 15年03月
  日本ライナー株式80%売却

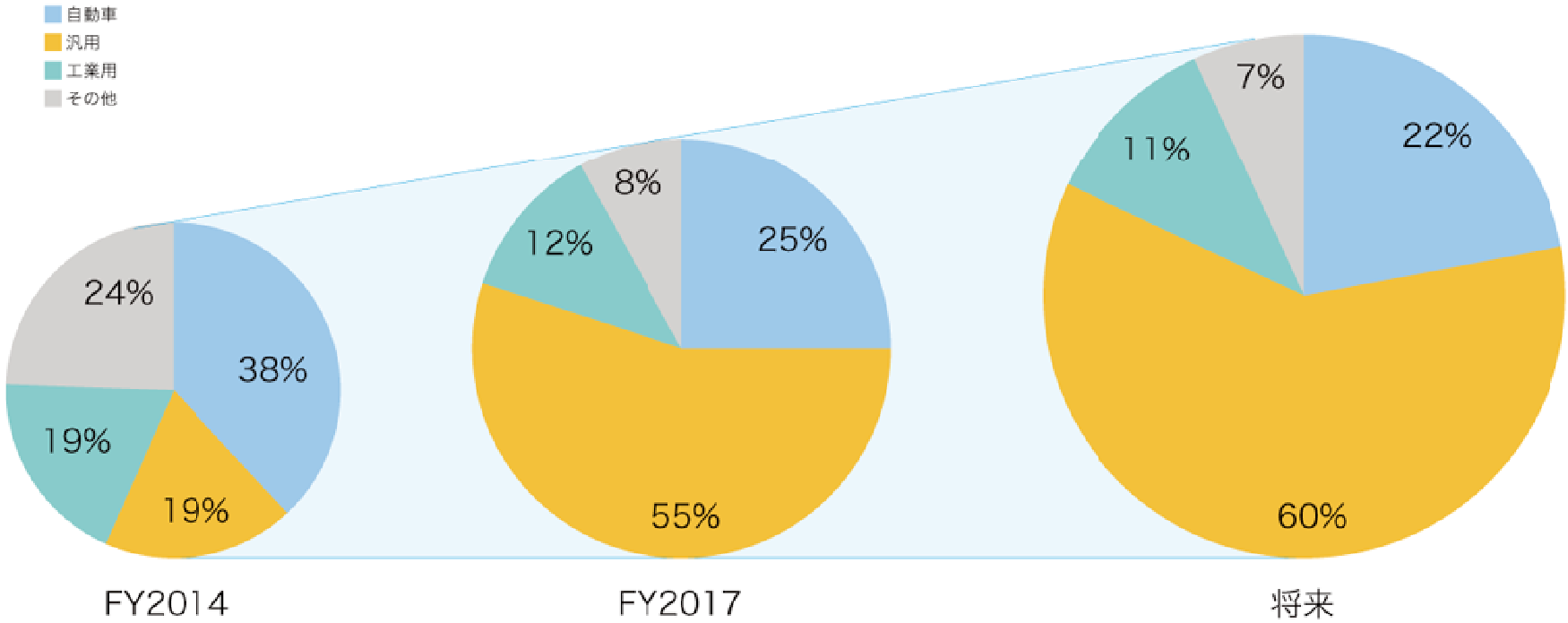
中期経営計画④　地域

事業構造を大きく変え、アジアに立脚した事業展開を図る!

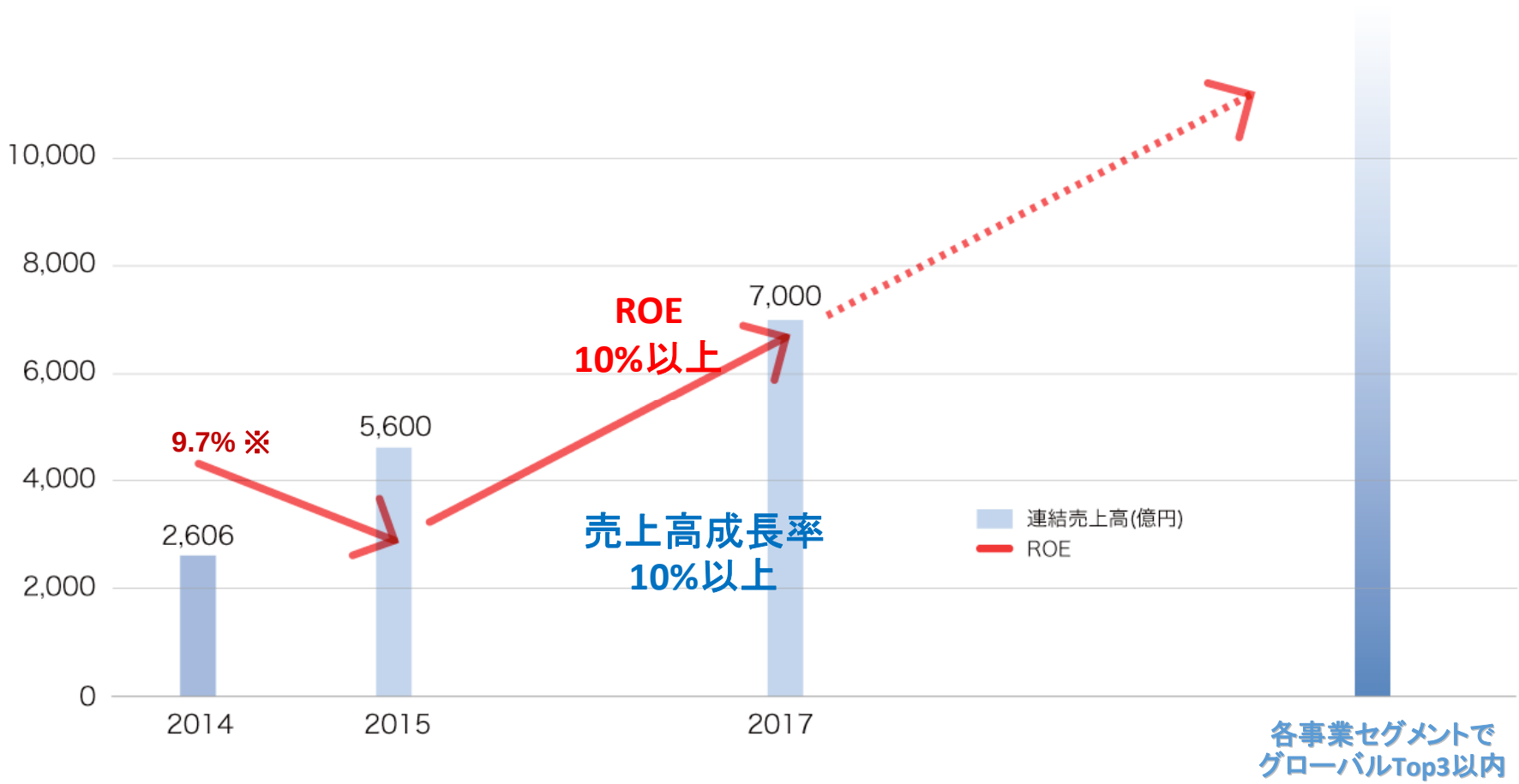


中期経営計画⑤　業種

事業構造を大きく変え、成長性・収益性の高い汎用塗料の割合を高める!



中期経営計画⑥　数値計画



※当期純利益から特別利益
(1,488億円)を控除し、算出

財務戦略

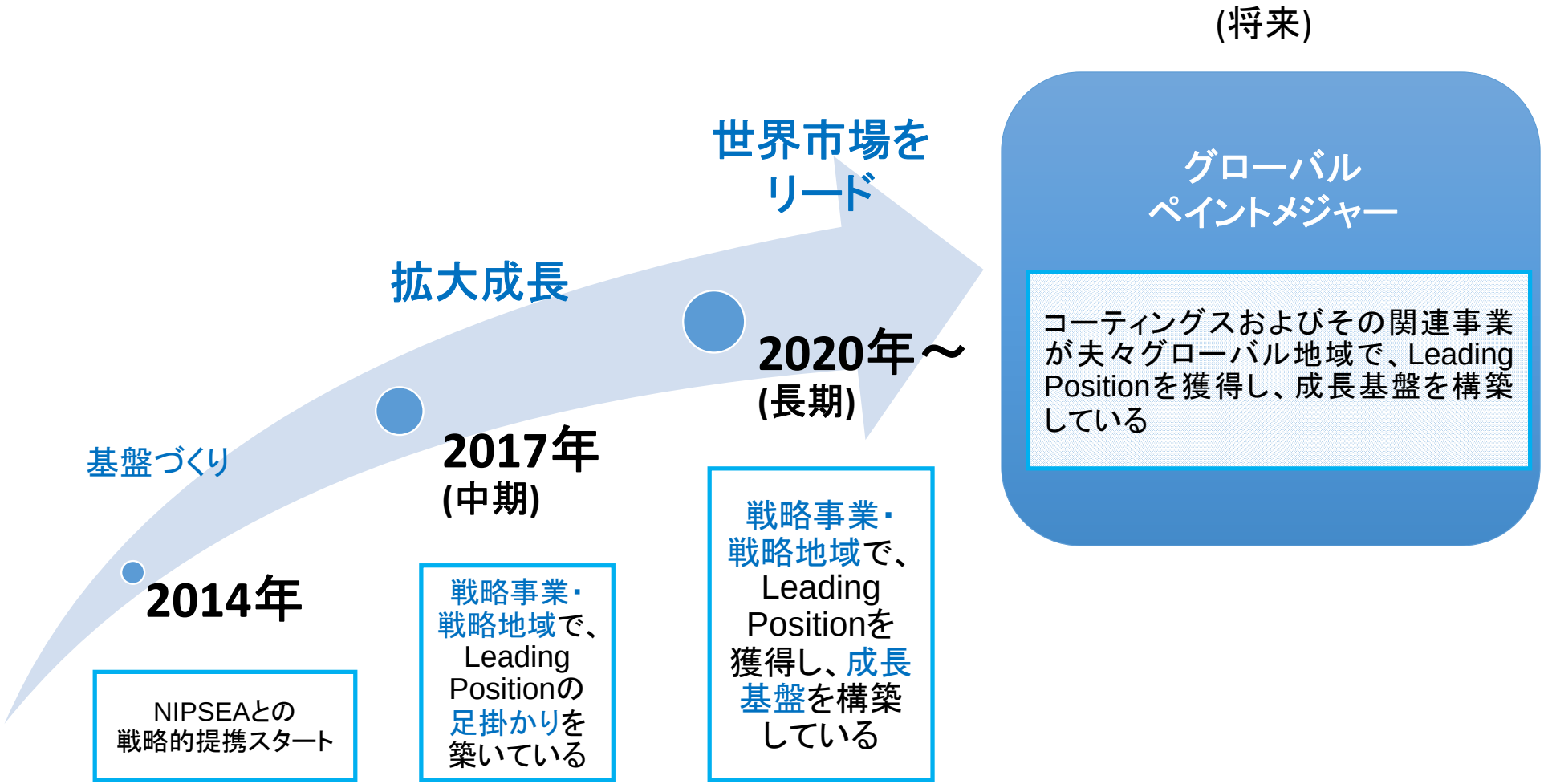
資金創出・調達	
営業キャッシュフロー	・営業CFは3年間で2,000億円レベルの創出を目指す ・収益拡大を図り、営業利益率15%以上を目指す
資金調達	・成長戦略に向けた調達余力の確保 （財務健全性を考慮したEBITDAレシオ1.5倍を目安）
資金配分	
成長投資	・M&A、戦略的提携等への積極的活用(3年間で枠3,000億円設定) ・設備投資：3年間で500億円程度
株主還元	・「業績に応じた利益配分」も、積極的な事業投資を通じた 利益成長により増配基調を継続

国際会計基準の導入

2018年度有価証券報告書からIFRS適用での財務諸表を開示予定

- ✓ グローバルでの事業評価の統一を通じ、
  適正・迅速な事業再編を実行等、経営の質の向上を図る。
- ✓ 事業を展開する各国の会計基準を統一、ガバナンス強化・業務効率向上
- ✓ 国内外投資家の利便性向上と裾野拡大
- ✓ 海外競合企業との比較可能性向上

to be a Global Paint Major



日本ペイントホールディングス株式会社

Basic & New

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。

万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社及び情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。